

番号 03651

登録識別情報等通知書

自動車登録番号	登録年月日	初度登録年月	車台番号
名古屋 199 ち	令和 4年 7月 25日	平成 7年 10月	兵 [63] 51130兵
車名		型	式
東急	[191] TD332A-47		
所有者の氏名又は名称			
所有者の住所	[14862]		
自動車の種別	用途	車体の形状	乗車定員
普通	貨物 自家用	セミトレーラ	
総排気量又は定格出力	燃料の種別	型式指定番号	類別区分番号
			[034]
		長さ	幅
		高さ	前前軸重
			前後軸重
			後前軸重
			後後軸重
		1220mm	299mm
		168mm	-kg
			-kg
			3940kg
			3970kg
有効期間の満了する日	令和 4年 11月 8日		
備考	<p>[名古屋]、一時抹消登録 自動車重量税 非課税 [旧自動車登録番号] *保安基準緩和* [認定年月日] 平成7年9月19日 [近畿運輸局] 3741 [緩和事項] [002] 幅, [004] 車両総重量, [005] 軸重, [008] 最小回転半径, [056] 隣接軸重 [制限事項] [002] 自動車の後面及び運転者席には、幅を表示すること。 [004] 自動車の後面及び運転者席には、車両総重量を表示すること。 [005] 自動車の後面及び運転者席には、軸重を表示すること。 [007] 自動車の後面及び運転者席には、最小回転半径を表示すること。 [031] 積載物品は、長大又は超重量で分割不可能な単体物品であること。 [072] 自動車の最外側附近の前面には</p>		
	<p>橙色の灯火（光度300カンデラ以下）を、後面には黄色の灯火（光度300カンデラ以下）をそれぞれ備えること。 [094] けん引自動車には運行記録計を備え、運行状況の記録をすること。 [096] 被けん引自動車の後面には、隣接軸重を表示すること。 *けん引車* いすゞ W-EXZ72J, KC-EXZ82J [その他検査事項] (1) けん引車の第5輪荷重18000KG以上。 (2) メルセデスベンツ 不明 (WDB934241) [シリアル番号] TD332A-47-S1049 以下余白</p>		

裏面もご覧下さい。



令和 4年 7月 25日

愛知運輸支局長

1. 本通知書は、再発行できませんので大切に保管して下さい。
(新規登録、輸出の届出等の際に必要になります。)
2. 本通知書の自動車を譲渡するときは、本通知書を譲受人に譲渡して下さい。

改造自動車等審査結果通知書

指示事項:

試作
改造概要説明書

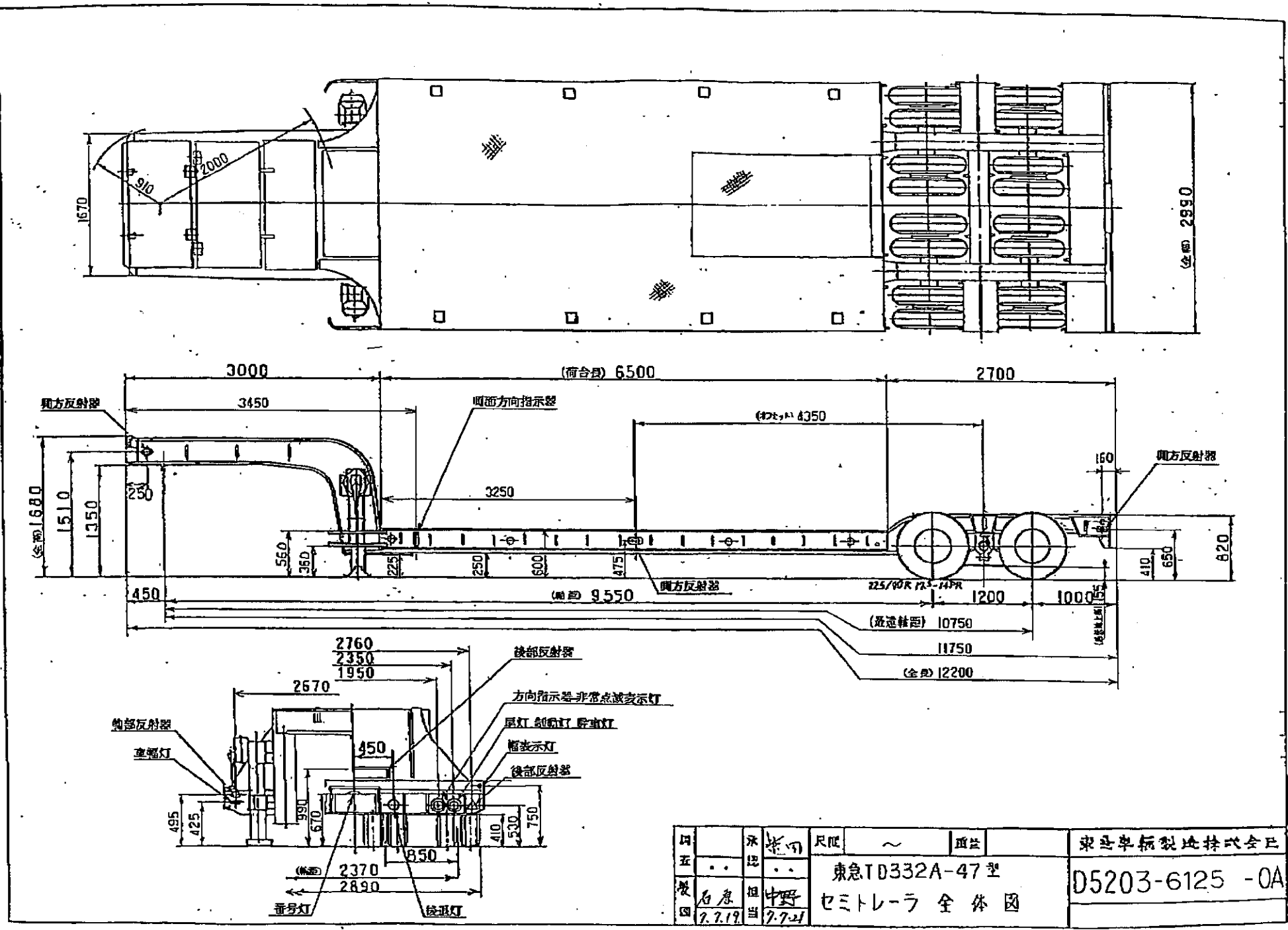
主要諸元比較表 (改造、既得、組立)

属出資の氏名又は名称		東京車輛製造株式会社			種別用途	普通貨物	
項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準
車両重量 kg		12170	—	車名	東 急	—	—
乗車定員人		—	—	型 式	T0332A-47	—	—
最大積載量 kg		32000	—	形 状	セミトレーラ	—	—
車両総重量 kg		44170	≤20 t	原動機の型式	—	—	—
長さ m		12.200	()	総排気量 l	—	—	—
幅 m		2.990	(≤12)	燃料の種類	—	—	—
高さ m		1.680	≤3.8	軸 距 mm	※ 12.2	—	—
室内又は 荷台の内 側の寸法	長さ	6.500	—	最小半径 m	—	—	≤12
	幅	2.990	—	—後端まで m	1.000	—	—
	高さ	—	—	荷台幅 m	4.350	—	—
空車時 荷重分布	前	4230	—	タイヤ 前	—	—	—
	後	3720	—	サイズ 後	225/60R12.5-14PR	—	—
積車時 荷重分布	前	17245	≤10 t	タイヤ 前	—	—	—
	後	13115	≤9 t	タイヤ 後	—	—	—
積載時前輪 荷重割合 %		—	≥18	荷重割合 前	—	—	—
		—	≥20	荷重割合 後	—	—	—
軸 距 m	前	—	—	最大安定 傾斜角度 右	※ 56	—	—
	後	2.370	—	傾斜角度 左	※ 56	—	—
能力強度 制 動 能 力	踏力	kg/35 km/h 9.2	—	車わく強度	$\sigma_s/\sigma = \frac{5000}{919 \times 2.5} = 2.1 > 1.6$	—	—
	空気圧	7 kg/cm ²	—		$\sigma_r/\sigma = \frac{3200}{919 \times 2.5} = 1.39 > 1.3$	—	—
推進輪	回転数	Nc/N = / =	—	車軸強度	$\sigma_s/\sigma = 4900/411 \times 2.5 = 2.0 > 1.6$	—	—
	強度	$\sigma_s/\sigma = / =$	—	懸架装置	n = / = > n	—	—
連結装置	強度	$\sigma_s/\sigma = / =$	—	懸架装置	n = 7000/401.23 = 2.2 > n	—	—
			—	制動装置	n = 4500/1276 = 3.5 > n	—	—
連結装置			—	連結装置	東急 TL2555 型トレーラと同一	—	—

注1. 主要諸元比較表右肩()内の改造、試作、組立は○で囲むこと。
 注2. 能力強度等検討値に必要としないものは、省略したものは×を記入すること。
 注3. ※印は いすゞ Y-E X 272J 型トラクターと連結時の計算値を示す。

目 的	当該車両は分割不可能なる重量物の安全輸送を計る為に新たに製作したものである。
車 体	
軸 距	重量配分の適正化を計るために第5軸から $9550 + 1200 = 10750$ mmとした
輪 距	2370 mmとした
原 動 機	
動力伝達装置	
走行装置	主レール後部下面にトラニオンブラケットを取付けそれにトラニオン軸を通しその軸を中心にして上下に揺動するウォーキングビームを取付け、その両端に取付けられた車軸にデーバーローラーベアリングをはめ合せて車軸のホイールを支える。
操 縦 装 置	
制 動 装 置	(主ブレーキ) 気圧・内部摩擦式ブレーキシューアンカーピン形式。 (駐車ブレーキ) フレームの側レールに取付けられた、ノブを押すと、 スプリングブレーキが作動する。 牽引車と分離した時、制動のかかる非常中継弁を取付けている。
懸 架 装 置	ウォーキングビーム方式 トラニオン軸を中心にして前後に揺動し、ウォーキングビームの スピンドルを中心に左右に揺動する構造である。
連 結 装 置	東急 TL2555 型セミトレーラ (6 自号 184 号 新型自動車 第 10999 号) と同一のものを使用している。 JIS-D-6602, 6603 に準じて製作してある。
車 わ く	全体の構造は梯子型で主レールとアウトリガー及びクロスメンバー とは電気溶接で固まされており、前部の下面にキングピン、後部に 車軸取付の装置を付けている。
そ の 他	使用牽引車 いすゞ Y-E X 272J 型, KC-E X 282J 型

(A列3番)



品名	車種	車号	尺取	重量	東武車庫製比持式全車
発注	石原	田中	東急T0332A-47型		D5203-6125 -0A
発注日	7.7.19	7.7.21	セミトレーラ 全体図		

20